

第9回 新人シナリオ発掘プロジェクト 第9回 舞台「GAKUYA」投稿作品

①タイトル「ラストライブ」

②作者：Parade555

③登場人物表

土門健吾 (11) シンガーソングライター兼 母親の介護

阿川大 (11) シンガーソングライター兼 コンビニバイト

山村周五郎 (41) シンガーソングライター兼 年上ストリップパールのヒモ

井上凜 (24) ライブハウスの店員

ライブハウスの楽屋。

土門健吾(正)、椅子に座りアコースティックギターを弾いている。

コード進行は、有名なカノン進行。

阿川大(正)、ギターケースを持って楽屋に入ってくる。床に、粗雑にギターケースを置くと、椅子にドカッと座る。

土門、ギターを弾く手を止める。

土門 大事にしろよ

阿川 何を

土門 (ギターに視線をやる)

阿川 もうどうでもいいだろ

土門 相棒だろ

阿川 相棒？じゃあコイツのせいか？何もかも

土門、阿川から視線を外し、ギターを弾きはじめる。カノン進行。

阿川 またそのコード進行？

土門 (ギターを弾くのを止め) これが、史上最高だろ。クリスマス・イブ、少年時代、愛は勝つ、

それにエンドレスレイン、全部そうだよ

阿川 恋するフォーチュンクッキー、マリーゴールドもな

井上凜(24)、ライブハウスのTシャツを着て入ってくる。

凜 そこも認めていこうよ

阿川 ね？凜ちゃん

凜 ちゃん付け辞める。キモい

阿川 毎度毎度、きついねえ

土門 そんなの、音楽じゃねえし

阿川・凜 音楽だし

凜 90年代で、時が止まってんだから

土門 俺は、良いものはちゃんと認めてるよ

阿川 それがたまたま、90年代っただけ、だろ

土門 そう

凜 まあ、それも今日で終わりだけどね

阿川 終わりっつて、凜ちゃん

凜 だって、辞めるんでしょ。音楽

阿川 まあ、ね

凜 土門さんも

土門 辞めるよ

凜 40過ぎて、就職先なんかないよお

阿川 うるさいな

凜 早く諦めればよかったのに

阿川 まだわからないだろ

凜 わかるよ。だって就職したことないんでしょ？

阿川 俺らは、プロ目指してたからさ

凛 今さら言い訳。ウケる

阿川 あのね

凛 ガンバレ氷河期世代

阿川 なんて、そういう言葉知ってるわけ？

凛 おっさんをイジるため

阿川 性格わるっ

凛 きやはははは

土門、ギターを弾く。カノン進行を弾きながらハミング。

阿川 いやいや、何してんの

凛 ムダムダ

土門 (弾くのを止め) 何って。曲書いてんの

阿川 まさか、新曲やるつもりかよ。あと2時間もないぞ。ライブまで

土門 毎回、ライブでは新曲やってきたから

凛 客、全然いないのに。ラストライブだからって、マスターも大々的に宣伝してくれた結果、前

売り3枚。普段となんもかわんねえー

土門 そういうことじゃないのよ

阿川 いや…あの、さ…いや、逆にすげえ

凛 なんか、ここまで人生無駄にしてる人、初めてかも

阿川 だよね。俺もそう思う

凛 (何も言わず阿川を見る)

阿川 何よ
凜 別に

凜、楽屋を出ていく。

阿川 あ、行っちゃうの？凜ちゃん

凜 あんまり、同じ空気吸ってたくないんで

阿川 いや、それ傷つくなあ

土門、ギターを弾く。カノン進行を弾きながらハミング。

阿川 どうせおんなじような曲になるって

土門 (弾くのを止め) 煌めきのないメロディーなら、歌詞は書かない

阿川 煌めきって、40すぎのおっさんが言うか？

土門 関係ないだろ。年齢は

阿川 関係しないだろ。ほんと、ぶきつちよな生き方だな。そんなんで、この先の人生、やって

けんのかよ

土門 俺は、今しか生きてないよ

阿川 鏡見てみる。ほら

土門と阿川、楽屋備え付けに鏡を見る。

阿川 俺らは40過ぎて定職もなく、子どもも、嫁も、その手前の彼女さえいない
土門 それと音楽は関係ないだろ

阿川 はあ？

土門 俺は今日のライブに向けて、曲を書く。それだけ

阿川 なんか、いつちよ前のミュージシャンみたいに言うな

土門 25年間やってきただろ

阿川 何万回言ったらわかんだよ。プロになってからがキャリアのスタートなのッ

土門、ギターを弾きはじめる。カノン進行にハミング。

山村周五郎(五二)、ギターケースを持って入室。

山本 ヤベエよ。マリリンが別れようって

阿川 オマエも、何万回話してんだソレ

山本 今度はマジだって

阿川 まったく。56のストリップパーなんか今すぐ別れろ

山本 ざけんな。マリリンは世界一のダンサーだぞ

阿川 何がダンサーだ。カツコよく言うんじゃねえ

山本 オマエなんか、親の脛齧りだろうが

阿川 ヒモ野郎が言うんじゃねえよバーカ。こっちは週2でコンビニ入ってるわ

山本 夜勤の大学生にいじめられて早朝バイトのくせしやがって。て言うか

山本・阿川 いつまで歌ってんだよ

土門、ギターを弾く手を止めて、

土門 オマエらもやれよ

山本・阿川 何を？

土門 何をつて？ライブだろ。練習でも何でもいいけどさ。やれよ

阿川、床に転がったギターケースを開く。

山本 あ、やるの？

山本、慌ててギターケースを下ろして開ける。

阿川、ギターケースから求人誌を取り出す。

山本、ギターのガットに伸ばした手を戻し、ギターケースを閉じる。

土門、ギターを弾き始める。

阿川、ギターケースを閉じ、椅子に座ると求人誌を見始める。

山本、阿川の隣に座り覗き込む。

山本 俺にも見せて

阿川 オマエは関係ないだろ

山本 音楽辞めるなら、マリリンが働けって

阿川 じゃあ、オマエだけ続ければいいじゃん

山本 やだよ。辞めるなら一緒がいい

阿川 ヒモつづけられんだろ。歌ってれば

山本 意味ねえよ

阿川 なんで

山本 俺ら3人でやってっから良いんだろ

阿川 意味わかんねえな

山本 ていうか、なんでバイトのページ？

阿川 とりあえずだよ

山本 とりあえずね

阿川 いいだろ。俺には俺の考えがあんだよ

山本 早く正社員なった方がよくね？

阿川 いや、あのさ…ていうかオマエが言うなよ。オマエ、一瞬でも働いたことあんの？

山本 ないね。太学2年からずっとマリリンと一緒だから

阿川 逆にすげえな

山本 逆って何よ

阿川 いや、オマエとくつちやべってる時間なんかねえんだよ

山本 あのさ

阿川 (雑誌見つつ) いや、倉庫整理はきつそうだな

山本 あのさ、何年遅かったのかね？俺ら。気づくのに

阿川 20年

山本 20年か。戻りてえなあ

阿川 巻き戻せないよ。時間は

土門 (ハミングで)巻き戻せないよお。時間はあ

山本　もしよ、もし、20年前に戻れたとしたら、何する？

阿川　就活

山本　どんな仕事したい？

阿川　内容なんかどうだっついていいよ

山本　なんでよ。給料とかあるだろ

阿川　まあ、とにかく、見てくれの悪くないヤツ

山本　そういう奴いたなあ。大学の時。ほら、戸田とかさ。神奈川県警たる。アイツ。今、何して

んのかな

阿川　別に、普通だろ。当たり前のことが当たり前に過ぎてく毎日さ

土門　(ハミング)当たり前のことが当たり前に過ぎてく毎日さあ

山本　そんなのつまんなくね？

阿川　いいんだよ。それで

山本　なんでよ

阿川　ていうか、それしかダメだったんだよ

土門　(ハミング)それしかダメだったんだよお

阿川　うるせえな。いちいち歌うな

土門　(ギター弾くのを止め)いや、やっぱ才能あるよ

阿川　何言っつてんだオマエ

土門　作詞の。言葉の紡ぎ方が違う

山本　あ、俺もそう思ってた

阿川　ふざけんな…もう意味ねえだろ

山本　あのさ、もしもだよもしも俺ら3人で組んでたらさ、売れてたりしたかな？

阿川 無理だろ。俺ら、音楽の方向性違うんだからよ

山本 いや、でもさ、土門の曲と、阿川の歌詞

土門 それにオマエの声な

山本 俺なんか

土門 俺は好きだぜ

阿川 俺も

山本 なんだよ。いきなり。へへ

阿川 でもさ、もう終わりなんだよ。今日で。すべて

山本 いや、別に今からやろうってんじゃねえから

阿川 当たり前だろ

山本 怒るなよ。もし20年前に戻れたらって話だよ

阿川 戻れないって

土門 それでも俺は、ソロを選ぶかもな

山本 なんだよそれ。俺らで組んだ方が

阿川 もう、おしまいだ。こんな話。俺らは、未来を見ないと

山本 嫌だよ

阿川 時間は流れてくんだよ。否応なく。ていうか、歌うなよ

土門 今のは、そんなでもない

阿川 うるせえな

山本 (しょんぼり)

阿川、立ちあがると部屋を出ていく。

阿川 ああ。なんか辛気臭えな。もう

土門、ギターに視線を落とす。

山本 土門ちゃんは、何すんの。明日から

土門 …

山本 否応なく来るわけじゃん。俺らには。未来と言う名の地獄が
土門 母ちゃんの介護

山本 あ

土門 今もさ、母ちゃんの年金で暮らしてっから

山本 でもさ、偉いよ。偉い

土門 (ギター持ち上げて) 俺は、コイツさえあれば良いから

山本 じゃあさ、続けるよ。土門ちゃんだけでも

土門 ああ。歌は書くだろっな

山本 おっしや

土門 でもな、ライブはできねえよ。もう

山本 どうして

土門 母ちゃんの具合が、良くない

山本 マジ?

土門 ああ。最近、俺のことがわかんなくなってきた

山本 ウソだろ

土門 (ギター持ち上げて) でもさ、コイツ持ってる、息子だっつてわかるみたいでさ

山本 土門ちゃん

土門 だから、ギターは持つてるよ。ずっと。コイツがないと、俺は俺じゃないみたいだしき
山本 その先は、どうすんの？

土門 その先って

山本 いや、ごめん。母ちゃん、死んじゃったりしたあと

土門 ああ

山本 なんか、ごめん

土門 死んでほしいよ

山本 え…

土門 正直

山本 :

土門 やっぱ、ショックだった。俺、ひとり暮らしもしたことないし、41年、ずっとお袋と暮ら
してきたからさ。しかも介護もしてつから、もつと距離も近くなつてさ。それなのにさ、忘
れちまうんだぜ。家出てつた兄貴たちの顔は憶えてんのにさ。なんでだよ。なんで

山本 土門ちゃん

土門 同時に、死んでほしくねえんだ。強烈に。やっぱ、お袋だしき。もうきつとそれ以上の存在
なんだ

山本 それ以上？

土門 なんか、上手く言えねえよ。阿川みみたいな作詞センスないし

山本 いいから。言つてよ

土門 なんだろうな

山本 恋人的な？奥さんのな？

土門 いや、そういうんじゃない

山本 じゃあ何？逆に子供のな？

土門 うーん。なんだろう。ちよつとした神様みたいな

山本 神様？

土門 髭もじゃの感じじゃなくってさ。なんだろう、座敷童的な。いや、それも変だな

山本 日本の神様だ。やおろずの

阿川 八百万な

阿川、楽屋の入口から顔を覗かせる。

土門と山本、阿川を見る。

阿川 なんだよ。邪魔だったか

土門 全然。俺らの楽屋だろ。ココ

阿川 そうだよな

阿川、求人雑誌を下敷きにして自分の席に座る。

阿川 で、何の話？

山本 いや

土門 俺のお袋の話だよ

阿川 施設、入れちゃえよ

山本 阿川ちゃんツ

阿川 だってそうだろ。土門が辛いだけじゃんよ。兄貴たちに押し付けられてよ

土門 それさ、散々兄貴たちからも言われてんだ

阿川 だったら何でやんねえの。金、兄貴たちが出してくれんだろ

土門 家、売ってな

阿川 ほら

山本 いいの？それで

土門 俺が決めるって

阿川 決めちゃえよ

土門 ずっと暮らしてきた家だからさ

阿川 オマエが辛くなるだけだぜ

山本 わかってるんだよそんなこと

阿川 なんで、オマエがキレんだよ

山本 なんか、ムカつくから

阿川 良い年したオッサンがムカつくじゃねえよ

山本 同い年だろ

阿川 わかってんだよ。そんなことは

凜、入口に顔を出す。

凜 マジで見苦しい

阿川・山本 凜ちゃん

凜 オヤジたちの喧嘩

阿川 見た目の割に若くねえか？オレ

山本 そうそう

凛 それは、苦勞してないからっしょ

土門 ははは

凛 土門氏は違うよ

阿川 なんでだよ。俺ら一緒だろ

凛 土門氏は違うな

阿川 小娘にわかるかよ。そんなこと

凛 (阿川を睨む)

阿川 あ、ごめん

凛 別に、無職のオッサンに言われても無傷

阿川 あのね、俺、無職じゃねえし

凛 40過ぎのフリーターは無職と同じ

阿川 ちげえから

山本 興奮するなって

阿川 バカにしすぎだろ。っていうか、俺ら客だよ。ライブハウス使ってやってんだぜ

凛 (頭を下げて) たいへん失礼しました

山本 阿川ちゃん

阿川 マジで、マスターに報告するわ

土門 ふふふ

阿川 何、笑ってんだよ

土門 なんか、生きてるなって

阿川　なんだよ。ソレ

土門　やっぱ、おまえらといると楽しい

阿川　ふざけんな。お先真つ暗だよ

山本　俺もだよ。何言ってるん土門ちゃんマジで

土門　俺さ、家にもいても、笑うことも泣くことも、悲しむこともないんだ。マジで機械みたいに、

お袋の世話してんだ。なんか感情もつちまうと邪魔でさ。だから、ウンコ漏らしても、飯を吐いても、徘徊したのを捕まえても、何とも思わねえんだ。今

山本　土門ちゃん

俺さ、今、ギター弾いても、何も湧いてこねえんだ

阿川　良いメロディー作ってるって

山本　作ってるよ。土門ちゃん

土門　なんだろう。煌めかねえんだ。ココ(心臓に触れる)が

凜　じゃあ音楽辞めない方がいいじゃん

土門　無理だよそれは

凜　このまま生きる屍になるわけ？

土門　生きる屍か：うまいこと言うな

凜　土門氏の人生じゃん

土門　お袋、見捨てられないよ

全員、押し黙る。

凜　マスター言ってたけど、売れるヤツの理由ってなんでかわかんないって。でも、客を沸かせ

ることができるのは売れるって。3人は、才能はあるけど、客を沸かすことより、自分の技術を追求してる職人みたいだって。だから、売れないんだらうって

今更かよ。マスター

俺らに何で言ってくんないんだよ。あの人

普通、言わないらしいんで。です

ごめん凜ちゃ…凜さん。さっきのこと、取り消す。ごめん

そうだよ。酷いよねえ

いえ。大丈夫です

女性はさ、大丈夫じゃないときに大丈夫って言うんだよ

どこ情報だよ

マリリンだよ

あのストリップパーか？

ほんとに、そういうところ嫌い

いいぞいいぞ

いや、あのさ。これは…

全然、さっきのこと反省してないじゃん

仕方ねえだろ。人間そんな簡単に変わらねえって

開き直りじゃん

開き直りだ

だから、さっきのことは謝ったよね

別に謝ってほしかったわけじゃないし

俺のさ(3人、土門を見る)、俺のお袋も言ってたな。同じこと

阿川 山本 凜 阿川 山本 阿川 山本 阿川 山本 凜 山本 阿川 山本 土門

山本 え？

土門 マリリンと

山本 ほらあ。ほらほらほらあ

阿川 ウンコ漏らしながらか

凛 マジ最低。阿川氏

土門 ふふ。そうだな

阿川 年金搾取で捕まるなよ

土門 死んだら、ちゃんと役所に届け出るよ

阿川 そうしろ。さすがに捕まるところは見たくねえし

山本 俺も働くから

阿川 なんだよ。急に

山本 俺だって働けるんだよ

阿川 当たり前だ。そんなの

山本 俺、働いて、マリリンと結婚する

阿川 マジ

凛 素敵かも

阿川 マジ

土門 いいじゃん

阿川 マジ

山本 へへへ。もうプロポーズはした

阿川 いつ？

山本 さっき。家出る時

土門 ライブの最後にやりやいいのに。来るんだろ。今日

山本 あ

凛 タイミング悪っ

土門 じゃあさ、最後に俺ら3人で、歌わねえ

阿川 今から新曲は無理だろ

土門 イケるよ。なんか、いけそうな気がする。阿川、歌詞頼むよ。俺、メロディー作るから

阿川 いやいや、待って待て

凛 いいじゃん。いいじゃん

山本 俺は？俺は？

土門 もちろんメインボーカル頼むよ

山本 おっしや

阿川 いや、詞は勘弁してよ

土門 オマエしかいないんだよ

山本 阿川ちゃん

凛 阿川氏

阿川 あー、わかったよ。もう。アレ、凛ちゃん。ライブ開始まであとのくらい？

凛 1時間

阿川 1時間しないの

土門 1時間もあるよ

山本 ね

阿川 なんか、急にカッコよくなるなよおまえら

山本 やろうやろう

阿川 ていうか、メロディーはまた？

土門 任せとけ

阿川 カノン進行だろ

山本 出た。伝説のカノン進行

凜 私、カノン進行大好き

阿川 そうなの？

山本 ちよつと、静かにしてよ

土門 大丈夫、大丈夫

土門、ギターを弾きはじめる。

カノン進行。

阿川、山本、凜、土門のハミングに聞き惚れる。

いや、いいんじゃない。それいいよなどと言ってる。